

高山市昭和町1丁目 高山市民文化会館内  
 Tel,34-6550 Fax,34-6877  
 メールアドレス●mail@takayama-bunka.org  
 ホームページアドレス●http://www.takayama-bunka.org  
 (文化会館の催し物案内はこのホームページをご覧ください。)

## 芭蕉忌によせて

飛騨俳句会代表 小鳥 幸男

恒例の芭蕉忌句会の開催に際し、松尾芭蕉の最期の様子について紹介する。

俳句はもともと、俳諧連歌の第一句(発句)が独立してできたもので、明治に入って正岡子規がこの発句のみを意味する語として「俳句」と呼ぶようになった。

中世末の俳諧連歌に流れていた「滑稽」とか「おかし」の心を「わび」「さび」の心境へと昇華させた人が、松尾芭蕉という人であった。

数多い俳人の中で、松尾芭蕉只一人が俳聖と呼ばれた。「古池や蛙飛びこむ水の音」「閑けさや岩にしみ入る蟬の声」など、俳句と言えば芭蕉の句が思い浮かぶ。元禄七年(一六九四)五月、



芭蕉は江戸を発ち、東海道を西へ向かい、五月末、郷里の伊賀上野に着いた。六月初旬、一説に芭蕉の内妻とも言われる寿貞尼の死の報せを聞いた芭蕉は、悲嘆に暮れ「数ならぬ身とな思ひそ玉祭」の悼句を捧げた。

それ以来、芭蕉の健康はすぐれず、九月に入り支考に付き添われて上野を発ち、奈良を経て大坂に向かった。大坂では、病気を押しして各所で俳筵に臨んだが、九月十日夕方から寒気、熱、頭痛などに襲われ、病状は十日間も続いた。一旦平癒するも二十九日夜、下痢を催して床に臥し、日を追って容態が悪化、十月五日、病床を南御堂前の花屋仁右衛門の貸座敷に移すと共に、各地の門人に急を知らせた。

八日、看病中の吞舟に墨を磨らせ「旅に病んで夢は枯野をかけ廻る」の句を認めさせた。十日夕方から高熱に襲われ、容態急変、去来を呼んで少し語り、支

考に遺書一通を認めさせ、別に兄半左衛門宛の遺書を自書する。この朝から食を廃し、不浄を清め、香を焚いて安臥し、十二日申の刻(午後四時)没した。

遺言により、遺骸を栗津養仲寺に収めるため、夜、淀川の河舟に載せて伏見まで上り、十三日昼頃、寺に遺骸を運び入れた。十四日に同境内に埋葬、門人焼香者八十八人、会葬者三百余人と記録は記す。



考に遺書一通を認めさせ、別に兄半左衛門宛の遺書を自書する。この朝から食を廃し、不浄を清め、香を焚いて安臥し、十二日申の刻(午後四時)没した。

遺言により、遺骸を栗津養仲寺に収めるため、夜、淀川の河舟に載せて伏見まで上り、十三日昼頃、寺に遺骸を運び入れた。十四日に同境内に埋葬、門人焼香者八十八人、会葬者三百余人と記録は記す。

- 【(一社)高山市文化協会加盟団体 文化振興 催事のお知らせ】
- ◇TPC高山写真クラブ写真展
    - ◇日時 十一月八日(金) 午後九時～午後七時(最終日午後五時まで)
    - ◇会場 文化会館2階展示室
    - ◇高山スイングエコー 四十周年コンサート
    - ◇日時 十一月九日(土) 午後六時三十分
    - ◇会場 文化会館大ホール
    - ◇料金 一、〇〇〇円(当日一、五〇〇円)
    - ◇さわらび会 書展
    - ◇日時 十一月九日(土) 午後九時～午後五時(最終日午後四時まで)

- ◇会場 文化会館3階講堂
- ◇第四十五回高山市民吹奏楽団定期演奏会
  - ◇日時 十一月十六日(土) 午後六時三十分
  - ◇会場 文化会館大ホール
  - ◇料金 一般一、五〇〇円/学生(高校生以下)五〇〇円 ※いずれも当日は三〇〇円増し
  - ◇高山市民合唱団「ひゆら」創立五十五周年記念 フォーレ レクイエム
  - ◇日時 十二月一日(日) 午後二時
  - ◇会場 文化会館大ホール
  - ◇料金 一般二、五〇〇円/高校生以下一、〇〇〇円

「風目(目)」 東京の渋谷駅前での待ち合わせなら、これはもうハチ公しかない。新宿も同じ効果を狙ったことがあった。

新宿は元々甲州街道の宿場町で、馬がたくさん集まっていた。そこで馬に関するものを探して、はるかイギリスの「馬の水飲み」なるものに目を付けた。これはよくできたもので、動物愛護の精神溢れる塔であった。

馬だけでなく、人間も犬も鳩も全ての動物がそれぞれ首の高さの所で、水が飲めるようにできていた。しかしこれはハチ公ほどの人気は出なかった。新宿はその後とてつもなく巨大化し、ビル群が林立し、駅も西口だ南口だと膨らんでいった。「馬の水飲み」は東口で人知れず、今もひっそりと立っている。

古い小汚い新宿駅は、新しい「民衆駅」としてすべての鉄道やデパートなどが協力して発足した。

その発足の時、郷土の大先輩牧野良三法相が大きくかかわられた。駅は町を作っていく顔。さて高山は・・・ (ガンモン毛筆)

名門オーケストラの華麗な調べで  
新春の幕が上がる。



アントン・ソロコフ  
(指揮・ヴァイオリン)



ウィーン交響楽団  
ヨハン・シュトラウス  
アンサンブル  
ニューイヤーコンサート2014



ビルジッタ・ヴェツツル  
(ソプラノ)

地元バレエ学校の生徒さんたちとの共演もあります



クリスティアン・マルティネス  
三谷梨央 (バレエ)

プログラム

ヨハン・シュトラウスⅡ世「ヴェネツィアの一夜」序曲、「浮気心」作品319(バレエ)  
「天体の音楽」作品235、「宮廷舞踏会」作品161  
「ハンガリー万歳」作品332 (バレエ)  
「美しく青きドナウ」作品314 (バレエ)  
オペレッタ《こらもり》より「チャルダッシュ」(ソプラノ)  
フランツ・レハール オペレッタ《バガニーニ》より「愛は地上の天国」(ソプラノ)

曲目は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

高山市文化芸術鑑賞事業

平成26年 **1月13日(月・祝)**

午後6時30分開演 / 午後6時開場

**こくふ交流センター さくらホール**

高山市国府町広瀬町880番地1

主催 高山市・一般社団法人 高山市文化協会

チケット料金 (一般) **2,000円** (メセナメイト会員) **1,500円**  
全席指定 ジュニア(18才以下) **500円** ※未就学児は母子席をご利用ください(席数限定)

チケット発売 11月2日(土)メセナメイト先行/午前10時~  
一般発売/午後1時~ ネット受付/午後1時~  
<http://www.takayama-bunka.org>

プレイガイド 高山市民文化会館、国府社教(こくふ交流センター2F) ※平日日中のみ  
飛騨市文化交流センター

〇お問合せ先 (一社)高山市文化協会 tel.0577-34-6550 mail@takayama-bunka.org